

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

第313号

2024(令和6)年10月  
隔月発行

## 特集

地域演劇でまちづくり  
「港北区民ミュージカル」



(港北区民ミュージカルの皆さん)

- P.2 特集「港北区民ミュージカル」
- P.3 連載「シリーズ わがまち港北」第238回 林 宏美 著
- P.4 区民活動支援センターからのお知らせ



地域に根差した題材をモチーフに、年齢や学校の違う子どもたちと大人と一緒に一つの舞台を創ることで、新しいつながりづくりと地域文化の活性化を目指し、設立時から欠かさず公演を続けてきた「港北区民ミュージカル」。新型コロナウイルス感染症拡大のためやむなく活動を休止していましたが今年12月、4年ぶりに復活します！

本番に向け鋭意稽古中の「港北区民ミュージカル」の取組を紹介します。

## 青少年育成と地域文化の活性化でまちづくりに貢献

### 学校や年齢の枠を超えた、新しいつながりづくり

青少年育成と港北区の地域文化の活性化を目標に2003年(平成15年)、水野次郎氏と区内福祉団体、青少年育成団体、中学校元PTA、中学・高校演劇関係団体等の役員達によって実行委員が結成・設立されました。出演者は、歌が好き！ダンスが好き！お芝居が好き！な小学生からシニアまでが毎回公募で集まります。数カ月間に及ぶ稽古の中で、自主性、協調性、自己表現力、チャレンジ精神、および互いのコミュニケーション能力を培いながら、喜びや試練を一緒に経験し、学校や居住地等によらない新たな絆を作っていきます。また公演当日受付等を担う出演者家族達の間にもつながりが生まれます。



水野代表(92)

### 地域文化の活性化と地域演劇の振興でまちづくり

公演は、来場者が「作品のテーマについて考えさせられた。観ごたえがあった。」と感じ、出演者と同じ目線で一体感を持つ場、地域の文化・芸術活動の活性化につながる場となるのが目的です。演劇の手法を使って人材育成と創造性豊かな地域づくりをしていく、リージョナルシアター(地域演劇)を支える布陣には、総監督はじめ、指導助手、ダンス、歌唱、振付とプロの面々が揃います。全員顔合わせの発会式(6月)で総監督の内田さんから「区民文化センターもできたことだし、港北区の文化の振興と皆さん(出演者)の成長を祈念して取り組みましょう！」とエールが送られました。

### さあ！復活公演へ！！

休止期間で、区民ミュージカルの認知度や機運は下がっていないか？との心配をよそに、これまでで最高の70余名からの応募がありました。応募者の年代や初心者・経験者の混ざり具合もちょうど良かったとのこと。「お芝居は初めてという方もいる中、経験者が大所帯を引っ張っています。彼女たちは踏ん張りが違う。お客様からの拍手の力を知っているから！」とは演出助手の小嶋さん談。当人たちに聞いてみると「演劇は日常と切っても切り離せないものと感じる。コロナ禍では感じられなかった人との密なつながりや温かさ、活気があります。」(小学4年生から続けている毛呂さん談)、「コロナ禍で一人芝居にも挑戦したが、面と向かって人とお芝居がしたかった！自分の出番を丁寧に作っていくことはもちろん、先輩方のように稽古場でのサポートもこなしたい。」(初参加は17年前という木村さん談)そして「お芝居ってこんなに元気がもらえるものなんだ！生の舞台の良さを素人ながらお届けできたら…」(毛呂さん)との言葉は、「仮想に託して、より人間らしく心を大切にする社会を目指していく」という水野代表の理念と、奇しくも重なります。



(上) 稽古の様子

(右) Vol.19公演チラシ

主催：港北区民ミュージカル実行委員会 後援：港北区役所、横浜市教育委員会  
作・演出：うちだ潤一郎

## 港北区民ミュージカル Vol.19 LINK (リンク)

公演日：12月21日(土) 開演：13:30 18:00  
22日(日) 開演：11:00 15:30



開場は開演の30分前

会場：港北公会堂

チケット：1,999円(税込,4歳未満入場不可) 全席指定

詳細情報はこちら





## 戦前にあった割烹旅館東京園と『夢痕録』

去る8月18日、イトーヨーカドー綱島店が42年4ヶ月の歴史に幕を下ろしました。この一帯はかつて温泉旅館街でしたが、昭和50年代に再開発によってモール商店街へと生まれ変わりました。その核店舗として誘致され、昭和57年(1982年)3月27日に開店したのがイトーヨーカドー綱島店でした。ヨーカドーはモールの中心であるとともに、綱島が温泉の街から変化していった時代を象徴する存在でもありました。跡地はどうなるのでしょうか。今後の行方が気になります。

さて、そのヨーカドーのあった辺りに戦前の東京園があったことをご存じでしょうか。このことは、地域インターネットメディアの『横浜日吉新聞』で、今年5月7日に公開された記事「戦前は西口ヨーカドー付近にあった「東京園」、綱島温泉をめぐる3つの意外な歴史」で紹介されましたので、ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。

東京園といえば、綱島街道沿いの黄色い建物の温泉施設で、東急新横浜線の工事のために平成27年(2015年)5月で無期限休業となったことが思い出されます。この場所には元々昭和2年(1927年)に東急が開業した綱島温泉浴場があり、戦後の東京園はその建物を譲り受けて開業したことは知られていますが、それ以前の歴史はあまり知られていませんでした。しかし、戦前の綱島温泉の案内には確かに「東京園」が載っており、大倉精神文化研究所にも、昭和11年(1936年)頃に入手したと見られる割烹旅館東京園の案内があります。

東京園の創業者は中村忠右衛門という人です。中村忠右衛門は号である照翁の名で『夢痕録』(写真①)という自伝を執筆しています。本書は横浜市中心図書館で所蔵していますが、号を著者名としているせいか、その存在はこれまで注目されていなかったようです。本書の端書を見ると、執筆の動機として「今年74歳、結婚50年の記念に何にか書きのこしたいと考えて、筆をとった」とあり、本編は「昭和29年仲秋 東京園にて記す」と締めくくられています。

巻頭には昭和13年(1938年)の大洪水記念に撮影した割烹旅館時代の東京園(写真②)や、旧綱島温泉浴場の建物を譲り受けて開業した頃の東京園での家族写真など、貴重な写真が掲載されており、戦前の東京園についても書かれていました。

元々教員だった中村氏が綱島で旅館を始めたのは、東京深川区(現、江東区)にあった細民(貧民)学校の霊岸小学校で、皇后

陛下の御台臨に際して6年生の御前授業を担当したことがきっかけでした。その時の「細民の子弟を完全に教育を受けさせるように」という御下問に答えるため、貧しい人々やその子どもたちが働く花柳界(芸者の集まる社会)に身を投じ、彼らとともに生きて恵まれない生活に救いの手を差し伸べたいと考え、料亭を開業する決心を固めたといえます。また一方で、当時の教員としては高齢となり、学校教育から隠退する好機だという判断もあったようです。

割烹旅館東京園は、建物建設のために借金で準備した前渡金を詐欺師に奪われるといった苦難に遭いながらも、昭和7年(1932年)の暮に開業し、翌年の2月11日、12日に開店披露の宴を行ったそうです。開業後、最初の春となった昭和8年(1933年)4月には、綱島の桜と桃が赤い毛氈(敷物)を被ったように美しく咲き、客室はもちろん、庭に設けた客席まで芸妓が一杯の満員盛況だったとあり、綱島の往時の賑わいが偲べれます。中村氏もその繁盛ぶりに苦難を重ねた暗い影は消え、大多忙も苦にならず喜び勇んで働いたそうです。

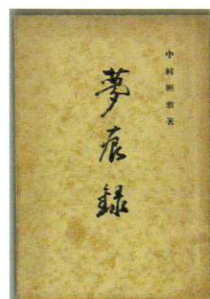
綱島の地を選んだ理由については詳しいことは書かれておらず、「まず土地を現在の綱島に予定した」とあるのみでした。そこは少し残念です。

割烹旅館東京園はその後、「波乱万丈を極めて建てた東京園は寮に提供しろという戦時中のオエラ方の一声で吹飛んでしまった。この身の代金三十万円也は浪人生活三年間、私の足部負傷、俸の出征などで消えてなくなり(以下略)」とあります。旅館は戦時中に30万円で買い上げられた形になってしまったようです。

寮として提供させられた東京園、ここを実際に使用したのが、岩手県から学徒勤労動員で川崎の木月にあった東京航空計器の工場に配置された水沢高等女学校(現、岩手県立水沢高等学校)の学生たちでした。

話は尽きませんが紙面が尽きました。勤労動員の話、『夢痕録』に記された戦後の東京園の話は、また次回に。

記: 林 宏美(公益財団法人 大倉精神文化研究所 図書館運営部長 兼 研究員)



写真①



写真②



# 区民活動支援センターからのお知らせ

募集中!!

## 日吉の本だな交流イベント「ストーリーテリングを楽しもう！」

読書の秋にピッタリな、心に残る作品を語り聞かせるストーリーテリングです。

日時:10月28日(月) ①13:30~14:00 ②14:30~15:00(各回30分)

会場:日吉の本だな(慶應義塾大学協生館1階:港北区日吉4-1-1)

語り手:眞鍋 登志子氏 対象:どなたでも 定員:各回5名(応募多数の場合は抽選) 参加費:無料 応募方法:横浜市電子申請・届出システム(右記QRコード)よりお申込みください。 応募締切:10月21日(月)



語り手 眞鍋 登志子氏



応募フォーム  
はこちら

## 活動する人のためのICT講座「インスタグラムで活動を発信してみましよう！」

日時:10月25日(金)、11月7日(木) 14:00~16:00(全2回)

会場:港北区役所4階 1号会議室 講師:山口 良介氏(まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.) 対象:市民活動、グループ・団体、自治会・町内会活動をしている方、港北区まちの先生 定員:15名(応募多数の場合は抽選) 参加費:無料 持ち物:スマートフォン 応募方法:横浜市電子申請・届出システム(右記QRコード)よりお申込みください。 応募締切:10月18日(金)



応募フォーム  
はこちら

## 港北地域学講座

港北区のことを様々な角度から学び、自分の出来ること、皆でできることを再発見する講座です。

### 「第1回 港北野菜とイチゴのおいしさ発見」

日時:11月11日(月)14:00~16:00

会場:港北区役所4階 1号会議室

講師:長澤 佑典氏(ながさわファーム)

定員:50人(応募多数の場合は抽選)

参加費:無料 応募締切:10月29日(火)



応募フォーム  
はこちら

### 「第2回 もっと知りたい!水のこと」

日時:12月4日(水)13:30~15:00

会場:菊名ウォータープラザ4階 会議室

講師:水道局担当者

定員:30人(応募多数の場合は抽選)

参加費:無料 応募締切:11月21日(木)



応募フォーム  
はこちら

## ガイドさんと歩く花と木と歴史と文化を知るウォーキングツアー

### 「第2回 秋の草木を探しに小机から新横浜」

小机城址から新横浜公園へ、専門家の草木に関する話を聞きながら歩きます。

実施日:11月19日(火) 集合時間:9:30 集合場所:JR横浜線・小机駅

改札口前集合 参加費:無料 募集人数:20名(応募多数の場合は抽選)

応募方法:横浜市電子申請・届出システム(右記QRコード)よりお申込みください。

応募締切:11月7日(木)



小机城址の紅葉



応募フォーム  
はこちら

## ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

港北区区民活動支援センター

検索

★開館時間★ 月~金曜 8時45分~17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷